

関西協会ニュース

2002 年 9 月 7 日発行 第 32 号

関西骨髄バンク推進協会第 11 回総会開催

平成 14 年 7 月 7 日（日）15 時 30 分より阪急グランドビル 26 階 7 号会議室において第 11 回関西骨髄バンク推進協会総会が執り行われました。正岡徹会長の挨拶では、関西協会の 2001 年度の主たる活動となった骨髄バンクチャリティー事業が骨髄移植推進財団の高久史磨理事長より「深く敬意の念を表します。」とのお言葉をいただいたことが報告されました。その後、橋本和浩氏が議長に就任し、全正会員 83 名中、会員 11 名（オブザーバー 2 名）委任状 12 名、計 23 名が参加し、会則 10 条 2 の総会成立定足数の確認後（委任状も含めて正会員数の 5 分の 1 以上とする）議事に移りました。（詳細 1～5 ページ）以下すべての報告が承認され、2002 年度活動方針案及び予算案が提案された後、承認されました。

又、当日の併催事業として、ドナー登録希望者の集団登録会が同会場で行われました。スミセイヒューマニー活動（住友生命の社会貢献活動）のメンバーが、若い強力なパワーを JR 大阪駅前まで発揮して頂いたお陰で、29 名の登録をして頂きました。

（34 名受付）

写真はスミセイヒューマニーの皆さん

2001 年度活動報告

2001 年 12 月に設立 10 周年を迎えた公的骨髄バンクは、大きな課題を抱える事になりました。政府の補助金の大幅削減に伴い、基本財産の取り崩しを開始し、患者負担金の増額を余儀なくされた事です。

設立当初から骨髄バンクを物心両面から支援する立場を一貫して取ってきた関西骨髄バンク推進協会として、今年度は適時に実行委員会を立ち上げ、チャリティー事業を中心に予算額を大幅に上回る支援金を寄付出来ました。

又、近隣各府県におけるキャンペーン登録会・献血併行型、職域型の登録会もようやく地に足が着いて参りました。2001 年度はそれらの「整備」「継続」を掲げ地元行政、日赤との連携をスムーズにしていくべき活動をしました。

1. 財団支援部門

< 支援金の実績 >

支援金	1,000,000 円	チャリティー囲碁	500,000 円
テロ時チャーター機用	100,000 円	その他（バザー売上金など）	100,000 円
チャリティーゴルフ	449,153 円	総計	2,149,153 円

・ LC・極真会等、直接財団に振り込んでいただきました。

< 登録会の実績 >

集団登録会 467 名 献血併行型登録会 129 名

2. 患者支援部門

・ 患者・患者家族懇談会を 8 月 25 日に主催いたしました。

（併催：「健康作り講演会」大阪府立健康科学センター）

・ 患者支援団体「ラポール」の経緯、経過を厚生労働省臓器移植対策室室長に報告致しました。

・ 大阪府立母子保健総合医療センターにて患児の慰問を行いました。

・ 機会ある毎にバザー・フリーマーケットを催し、売上を（財）骨髄移植推進財団にチャリティーしました。

・ 患者やその関係者の手作り品を提供していただき、その売上から手間代を患者さんに還元できました。

3.普及広報支援部門

- ・関西協会ニュースを 3 回（7 月、12 月、3 月）発行しました。
- ・広い年齢層に理解を得る為、囲碁、ゴルフをたしなむ方々の協力を得てチャリティー事業を行いました。
- ・香川県丸亀市において登録会の突破口を作る為に協力しました。
2001 年 11 月 3 日 骨髄バンクシンポジウム in 香川 ~ 『静けさの中で「命」を考える』 ~ 於：正覚院
2001 年 11 月 4 日 休日ドナー集団登録会 於：宇多津ビブレ
- ・夏休み中の子供達とその家族をはじめ広く府民の理解を得る為に、啓発映画「いのちのあさがお」の上映会を一週間に渡って催しました。（於：大阪府立健康科学センター）
- ・セレッソ大阪の協力を得てホームグラウンドでの試合の際に、啓発活動を行いました。

4.その他

- ・ボランティアの意義を広く世間一般に知って頂く為、又、将来のドナー登録の為の知識を得て頂く為、府下高校生と共に勉強会、チャリティーバザーに取り組むことになりました。
- ・2001 年 7 月 23 日に行われた骨髄バンク事業関係者会議（主催：厚生労働省）の後、関西地区・地区普及広報委員意見交換会（任意参加者による）を開催しました。（2001.7.28.於：大阪府立成人病センター）その結果を厚生労働省・日赤・財団に「意見書」として提出しました。
- ・関西電力労働組合姫路地区本部の各献血会場で、献血併行型の登録会が開催できました。
2002 年度は関西電力労働組合各地区本部でも検討していただくことが労働組合本部で決まりました。

役員体制

2002 年度の会長、運営委員、監査役として正会員ならびに正会員団体等から次の方々をご推薦いただき、協議の上、会則 7 条に基づいて選任されました。

会長	正岡 徹	（恵生会病院名誉院長	大阪府立成人病センター顧問）
副会長	藤岡 八重子	（(財)骨髄移植推進財団	企画管理委員）
運営委員	1. 加藤 小百合（奈良）	2. 貴志 政人（和歌山）	
	3. 神山 清子（滋賀）	4. 佐竹 雅博（大阪）	
	5. 田代 貴久（大阪）	6. 田畑 健雄（大阪）	
	7. 辻岡 美奈子（大阪）	8. 新名 星子（大阪）	
	9. 橋本 和浩（大阪）	10. 林 吉男（和歌山）	
	11. 藤岡 八重子（京都）	12. 藤原 敏子（奈良）	
	13. 村上 耕一（兵庫）	14. 安原 武志（大阪）	以上 14 名（アイウエオ順）

尚、運営委員の追加選任、解任は運営委員会で決める。

監事	（主に業務監査）	二宮 英喜	（真愛ホーム施設長）
	（主に会計監査）	福村 武雄	（弁護士）
顧問	佐藤 武男	（大阪府立成人病センター名誉総長）	
	原 宏	（兵庫医科大学総合内科学血液腫瘍科教授）	
	柴田 弘俊	（北大阪赤十字血液センター所長）	
	金丸 昭久	（近畿大学医学部附属病院血液・腎臓・膠原病内科教授）	
	秋山 祐一	（国立京都病院小児科医長）	
	河 敬世	（大阪府立母子保健総合医療センター小児科部長）	
	椿 和央	（近畿大学奈良病院血液内科教授）	

< 運営委員会役員 >

2002 年度の運営委員長、事務局長、事務局次長、会計、副会計について 7 月度運営委員会にて、選任されました。

運営委員長	：	藤岡 八重子	
事務局長	：	新名 星子	事務局次長
会計	：	村上 耕一	副会計
患者支援団体「ラポール」代表	：	田代 貴久	

2002年度活動方針

関西骨髄バンク推進協会は、より一層の公的骨髄バンクの充実を願い、『患者支援』・『普及広報』・『骨髄移植推進財団の支援』を3つの柱として活動をします。又、その活動を充足させるために「特定非営利活動法人」(NPO)資格取得の調査を開始します。

1. 患者支援部門について

患者支援団体「ラポール (RAPPORT)」を全面的に支援していきます。

2. 普及広報部門について

- ・より一層、多くの人に骨髄バンクを理解していただくために、又、より充実した骨髄バンクのために、日本造血細胞移植学会で公開シンポジウムを開催します。

『日韓交流記念事業「命のボランティアでつなぐ 日韓交流」』

日時：2002年10月25日(金)17:15~19:30

場所：大阪国際会議場「グランキューブ大阪」

- ・ライオンズクラブ国際大会に参加します。

『ライオンズクラブ国際協会 第85回ライオンズクラブ国際大会』

会期：2002年7月8日(月)~7月11日(木)午前9時~午後6時

場所：大阪国際会議場

3. 財団支援部門について

ドナー登録会の開催については、各府県で整理がついてきました。関西協会の役割は、今年からはかたちが変わってくると思われます。関西電力のような多府県にわたる企業における登録会(献血併行型)の提案・協力を行います。

まだドナーのない患者さんのドナーを見つけるために、キャンペーン登録会は実績の上がる場所を選んで行います。

チャリティー・コンサート、チャリティーゴルフ大会・囲碁大会を昨年度と同様開催して、財団に資金の援助を行います。骨髄バンクの普及啓発とともに「ラポール」事業と連携して患者さんなどが制作した作品を会場で販売し、患者さんを支援します。

他の奉仕団体(ロータリークラブ、ライオンズクラブ、ソロプチミスト、青年会議所など)と連携を密にして、よりよい支援活動を目指します。

2001年度実績と2002年度予算

キャンペーン事務局 2002年度より関西協会の会計に計上

勘定科目	2001年度予算	2001年度実績	備考
【支出】	4,850,000	3,190,188	
人件費	4,500,000	3,033,640	
臨時雇用費(パート)	4,065,600	2,730,800	事務局員増員なし
手当(通勤)	434,400	302,840	
旅費交通費	105,000	78,600	
一般交通費	105,000	78,600	
会議交通費	0	0	
消耗品費	20,000	360	ホスター用シール別途計上のため
印刷製本費	0	0	
備品費	0	20,790	テレビデオ購入
通信運搬費	95,000	50,798	
通信費	30,000	0	
運搬費	35,000	8,850	
普及広報運搬費	30,000	41,948	
修繕費	0	0	
雑費	30,000	6,000	道路使用許可3回
ボランティア関連費	100,000	0	交通費等支払いなし

関西骨髄バンク推進協会

勘定科目	2001 年度実績	2002 年度予算	備考
[収入]	11,667,595	11,250,837	
会費	1,306,000	1,410,000	
正会員	300,000	310,000	
個人	217,000	250,000	
団体	83,000	60,000	
賛助会員	1,006,000	1,100,000	
個人	476,000	500,000	
団体	530,000	600,000	
事業収入	1,305,892	1,450,000	
寄付金	1,756,907	3,470,000	
助成寄付金	465,551	470,000	
一般寄付金	1,291,356	3,000,000	
雑収入	14,776	20,000	
売上	49,000	60,000	
図書売上	49,000	50,000	
その他売上	0	10,000	
前年度繰越額	7,235,020	4,840,837	
[支出]	6,826,758	8,725,000	
人件費	0	4,000,000	2001 年度までキャンペーン事務局費として計上
臨時雇用費(パート)	0	3,760,000	@800*8h*23日*2人*12ヵ月+@100000*2人
手当(通勤)	0	240,000	
旅費交通費	319,180	350,000	
一般交通費	229,230	250,000	
会議交通費	89,950	100,000	運営委員会 6 回/年として(他 6 回はIT会議)
消耗品費	119,531	100,000	
印刷製本費	148,470	150,000	
一般印刷費	0	18,000	
機関誌印刷費	148,470	132,000	関協ニュース@44000*3
備品費	17,829	10,000	
通信運搬費	844,414	800,000	
通信費	809,286	760,000	
運搬費	8,490	10,000	
普及広報運搬費	26,638	30,000	
修繕費	129,150	100,000	
雑費	34,530	35,000	
支払手数料	29,775	30,000	
雑支出	4,755	5,000	
骨髄バンク支援金	1,100,000	1,000,000	年度末にトータルで出来高払い
キャンペーン事務局費	3,190,188	0	2002 年度より人件費として計上
事業費	836,586	2,100,000	
シンポジウム費	377,962	600,000	日韓シンポ
その他事業費	458,624	1,500,000	@5000*300回(登録会人件費など)
仕入	86,880	80,000	
図書購入費	86,880	70,000	
その他購入費	0	10,000	
次年度繰越額	4,840,837	2,525,837	

血液疾患患者支援団体「ラポール」2001 年度活動報告

2001 年 3 月 発起
2001 年 12 月 23 日 設立総会開催

発起人

正岡徹（大阪府立成人病センター顧問 関西骨髄バンク推進協会会長）
仲田順和（醍醐寺 宗務総長・執行長）
河敬世（大阪府立母子保健総合医療センター）
藤岡八重子（元患者家族 関西骨髄バンク推進協会運営委員長）
田代貴久（元患者 関西骨髄バンク推進協会運営委員）
佐竹雅博（元患者 関西骨髄バンク推進協会運営委員）
村上耕一（元患者 関西骨髄バンク推進協会運営委員）

主な活動

- (1) 闘病中の患者への支援基金（骨髄移植推進財団内）に対する協力事業
- (2) 患者への就職支援
- (3) 患者・患者家族への情報提供
- (4) 会報発行予定

会員および年会費

個人正会員	一口	3,000 円	個人賛助会員	一口	3,000 円
団体正会員	一口	10,000 円	団体賛助会員	一口	10,000 円

血液疾患患者支援団体「ラポール」を支援して頂いている団体

関西骨髄バンク推進協会	和歌山骨髄献血の和を広げる会
大阪骨髄献血の和を広げる会	奈良造血幹細胞移植を支援する会
骨髄献血の和を広げる会	骨髄バンクを応援するさかい
滋賀骨髄献血の和を広げる会	

2001 年活動内容

- ・ 関西協会を通じてラポールの登録者を募集し、3 名に就職の斡旋ができた。
- ・ 他の難病患者が設立した企業（M@21）と提携して PC 技術者として 1 名が就業できた。
- ・ 患者会でラポールを PR できた。
- ・ 患者の作品を売り上げて骨髄移植推進財団にチャリティーし、手間代として還元できた。
- ・ NTT マイライン・節電器などの代理店手数料を得ることができた。
- ・ 「オオクワガタ」の販売を行い収入を得る事ができた。
- ・ 厚生労働省臓器移植対策室を訪問し、経緯・経過報告をした。

2002 年活動方針

1. 仕事をしたい患者に対して情報提供出来るよう活動をしていきたい。
2. 各団体にラポールを PR してより多くの情報を収集・発信をし、患者と各企業及び団体との橋渡し（ラポール）をしていきたい。

～読売新聞（2002 年 8 月 3 日）掲載記事より抜粋～

（前略）移植が成功しても体調が元に戻るには時間がかかり、すぐに社会復帰するのは難しい。しかし、企業の休職期間には限りがある。期限切れで退職する人、職場に気を使ってやめる人も少なくない。

再就職は、この不況の中では厳しい。このため、骨髄バンク支援団体「関西骨髄バンク推進協会」（大阪）は昨年からは患者支援の一つとして就職のあっせんを始めた。

大阪府摂津市の佐竹雅博さん（42）は、移植後に学んだコンピューターの知識を生かし、ホームページ作成を手がける会社に入った。佐竹さんの得意先、府立健康科学センターには、協会の紹介で小学校教諭だった女性、元社員の男性ら三人が非常勤職員として働いている。

「いのちはいただいたけれど、生きていくためには経済的な自立も大事」「いろいろ勉強して、いずれは正社員に」「まだ医療費がかかる。その分だけでも稼ぎたい。思いは様々だ。（後略）

イ ベ ント 報 告

「多田そうべいふれ愛コンサート」

4月14日(日)新大阪のメルパルクホールで、「ふれ愛こんさーと」が開催されました。殿様キングスの多田そうべいさんが、各地のサークルに参加を呼び掛けて開催しているこのコンサートでは、かわいい踊り子さん達や見事な歌い手など、沢山のサークルによる発表があり、某有名タレントさんも日曜日のパパの顔でお嬢さんの発表を見に来ていました。会場では骨髄バンクのチャリティーとしてパンフレットと貴志真由子さんのマスコットの販売が行われ、どちらも大好評。パンフレットは早々に売り切れてしまいました。骨髄バンクのミニシンポも行われ、そうべいさんと山村詔一郎氏(奈良)が骨髄バンクへの協力を呼び掛けていました。「できれば登録したいけど、年が…」と、募金箱に寄付をして下さる方もいらっしゃり、売上と募金を合わせた 246,402 円が骨髄バンクの啓発活動に役立てられました。当日ご参加下さったボランティアの方々、ありがとうございました。(報告:那須)

「槻貴子ふれあいコンサート」

4月28日(日)高槻市生涯学習センターにて「第2回骨髄バンク支援チャリティー槻貴子ふれあいコンサート」が開催されました。今回も槻貴子さん(コロムビアレコード所属)は、彼女の姪御さん(白血病でご逝去)の命日に思いを託した持ち歌『心の万華鏡「7月7日」』(作詞・作曲 上田昌利先生 保田幸司朗先生)を熱唱されました。他約150名の出演者も歌に踊りに大熱演です。「7月7日」を歌いながら、募金箱を持って観客席を回り100,176円のご寄付を集めていただきました。槻貴子支援会の皆様ボランティアとして会場運営、カタログ作成までされたたくの手作りのコンサートです。支援会の皆様のご寄付20万円と共に総計300,176円すべてを骨髄バンクに寄付していただきました。姪御さんの命の一滴が波紋のように広がって行き、多くの方の心を動かし、心の愛を皆様に分け与えているのを実感しました。(報告:田代)

～槻貴子さんからのお礼状～(一部抜粋)

小さい子供さんが十円玉をたくさん握って、湯気が立つくらいに、温かい愛をくださいました。「ありがとう、ありがとう…」と何度も心の中でつぶやきながら涙が流れ、「空で見ている真由美、うれしいね…」と伝えたい気持ちで歌いました。兄夫婦も「まるで娘が元気でボランティア活動をしているようだ。」と喜んでおります。(続く)

「ライオンズクラブ335-C地区5リジョン親善ゴルフ大会」

5月17日(金)京都府・福知山カントリークラブにおいて、財政逼迫の骨髄バンク事業を支援すべく、チャリティーゴルフ大会が開催されました。

小雨降る中、とても若いとは言えない、元気はいっぱいの女性陣応援の中、プレイヤーの方々、ワンオンチャリティーにトライして・・・<保険やおまじないのつもりで、実力通りの結果に諦めて、天候のせいというらみつつ>と悲喜こもごもではありますが、皆さんどなたも快く、ボックスにご寄付してくださいました。ラウンジではバンクのパネルを展示と同時にバンク関係者の作品バザーも催され、合計300,000円を骨髄献血の和を広げる会へチャリティーしていただき、後日、そのうち200,000円を関西協会にご寄付いただきました。(報告:辻岡)

「大阪府立大学・友好祭における勉強会・ドナー登録会」5月31日(金)・6月1日(土)

在校生の発病がきっかけで始まったドナー登録会も今回で3度目を数えます。(残念ながらこの学生さんは移植前に亡くなりました。)初夏に大阪府立女子大学、大阪府立看護大学・医療技術短期大学部との四校合同で開催される友好祭と秋に府立大学で開催される白鷺祭に参加してのイベントも、毎回1日目は骨髄バンクの勉強会から始まります。府大OBで、日本初の非血縁者間骨髄移植を受けた橋本和浩氏の講演や、同じくOGで骨髄バンクのコーディネーターとしての活動経験があり、自らもドナーとして骨髄液を提供された加納恵美子氏の講演が行われてきました。元在校生やそのご遺族の想いが、今も脈々と引き継がれています。献血バスもいつもどおりに学生たちで賑わい、バンクのドナー登録者は今回9名で、過去2回との総計49名です。(報告:新名)

「極真会登録会」

雨の降りしきる6月30日(日)、極真会「第19回全日本ウエイト制空手道選手権大会」会場(大阪府立体育館)にて、休日登録会が開催されました。この日は、8人の方が登録をして下さり、また会場入り口で行われたグッズ販売では3万円が財団に寄付されました。ボランティアはバラエティに富んだメンバーが集結。久しぶりに参加した方、大学の後輩を誘ってきた人、国際交流活動をしているメンバーなど。お互いのバンクへの関わりなどを交流しつつアクティブにグッズ販売やピラマキを行い、とても良かったと思います。(報告:地区普及広報委員 鄭順一)

「第85回ライオンズクラブ国際大会」

ライオンズクラブ国際大会が、7月8日(月)~11日(木)までUSJ・大阪ドーム・大阪国際会議場(グランキューブ大阪)の3会場で開催されました。骨髓バンクもグランキューブにブースをもらって啓発をさせていただきました。会場に来られる人は世界中からのお客様で、英語の出来ない私たちは、かたことの単語と身振り手振りで対応をしました。2004年にはロータリークラブの国際大会が大阪で開催される予定です。今回の経験を教訓にして日本の骨髓バンクが世界にアピールできればいいと思います。(報告:藤岡)

「奈良県・山添村ふるさとセンターにおける献血併行型骨髓ドナー登録会」

7月21日(日)天理教奈良教区青年会藤本和宏様とバイカーズパーティー実行委員会尾上克佳様達のお骨折りで、県下初の移動献血併行型ドナー登録会が実現しました。猛暑の中のイベント、その上、人里離れた場所での登録会で果たしてどれだけの方々の協力を得られるかがとても気がかりでしたが、それも杞憂に終わりました。上記、天理教徒やバイカー達の熱い思いが、ドナー登録希望者のキャパシティ5人、献血希望者のキャパシティ50人を各々満たしました。(7人と55人を受付)惜しむらくは猛暑の中、ちょっと喉を潤すためのアルコールが受付できない原因にもなっていました。ということで、皆様、次回はシラフでお越しください。お待ちしております!(報告:藤原)

「大阪パリ祭 骨髓バンクチャリティーシャンソンコンサート(大阪厚生年金会館大ホール)」

7月22日(月)癌を克服したシャンソン歌手の深緑夏代さんが「後に続く患者さんたちの何か役に立ちたい」との温かいお申し出にバンクのチャリティーコンサートが企画されました。7月8日には移植を必要としている中井耀君(3歳)も共に記者会見に臨み、未だ目標の30万人ドナー登録者数に程遠いことを世間に訴えました。本番のコンサートでは宝塚歌劇団ご出身の深緑さんが主催されただけあって、舞台も会場もなんと華やいだ雰囲気でした。幕間に正岡会長と中井耀君がバンクの窮状を話すとその雰囲気も水を打ったようになり、あちこちでハンカチを目に当てている方も見受けられました。メインゲストの芦野宏さんも出番を終えてロビーで耀君を思いを込めた眼差しで、しばらく見つめていらっしゃいました。なお、深緑音楽事務所よりA席のチケットの売上をご寄付いただき、ロビーの募金箱には出演者の皆様やお客様から234,726円のチャリティーをいただきました。(報告:新名)

「高校生による骨髓バンクチャリティーフリーマーケット」

7月27日(土)大阪府高等学校青少年赤十字メンバーの高校生たち13人が炎暑の中、バンクのチャリティーに立ち上がって下さいました。きっかけは昨年度来、藤岡委員長がボランティア講座に講師として招かれたことです。講義を聴く受身の立場から体を動かしてボランティアの意義を実感するべく、大阪府立健康科学センターの前で売り子として大声を張り上げてくれました。さすがに大阪のコ!値段の駆け引きも初体験とは思えないほど堂に入ってます。校内新聞でPRし、物品集めから品物提供まで地味な仕事もこなしていただき、約3万円の売り上げを記録しました。これをきっかけにドナーやバンクのことに興味を持ち続けてくれることを祈ります。(報告:新名)

骨髄バンクニュースダイジェスト

(マンスリーレポート 2002/8/21 より)

新規ドナー登録者数、伸び悩みか。年度登録者 4 万人達成は下半期の成果如何に
 前年同月比で、6 月まで 21 カ月連続で伸びていた月間新規ドナー登録者数が、7 月は減少となりました。月間ドナー登録者数が、2000 年 10 月から伸びてきた主因は、「行政主導の献血併行登録会」が大幅に増えたことによるものです。2001 年度は献血並行登録会の開催数は 500 回弱。6000 人弱の登録者があり、従来型のドナー登録会と合わせると 1 万人以上と、総登録者の約 45% を占めるまでになりました。今年 1 月から 6 月の新規登録者数は、前年同期に比べて約 30% 増、登録会開催数は約 85% 増でした。このペースが維持されるとすると、2002 年度登録者数は 3 万人となります。それでも年度目標の 4 万人の 4 分の 3 程度の水準です。下半期好調だった昨年同期を上回る登録者増大、年度登録数記録更新のため、関係者の皆さまのさらなるご協力をお願いします。

国の審議会中間まとめ、毎月 2 回の精力的開催で論議が一巡

本年 3 月より開始された国の審議会である「厚生科学審議会疾病対策部会造血幹細胞移植委員会」(委員長・斎藤英彦 国立名古屋病院院長)は、7 月 31 日(水)開催の第 9 回目の会議で、下記 4 つの主要テーマについての論議が一巡したことから、中間まとめを行いました。

需給バランス 骨髄移植は高齢者等への適応拡大で、年間 3000 例へ大幅増加すると予測されるため、今後、研究班や関係学会に意見を聞く。ドナー適応年齢も拡大する方向。さい帯血では、保存目標の見直しとして、細胞数が多いさい帯血に移行し、保存数を確保する方向で論議を進める。末梢血幹細胞移植等は、研究班や関係学会から安全性、有効性の評価についての報告を受け、論議を進める。

実施体制 骨髄バンクとさい帯血バンクとの連携推進が求められ、献血併行ドナー登録では地方行政の役割が重要。コーディネート業務の重要性、責任の明確化の観点からコーディネーターの専任化が必要。

安全性の確保 国際的な基準、規制水準を参考にし、関係学会の意見を確認すること、安全基準担保措置として第三者機関の査察なども必要である。ドナーの安全確保、補償のあり方について、さい帯血プライベートバンクの実態把握、規制の可否、安全対策については、今後、論議を深める。

財源対策 国民の医療として定着し、今後さらに大幅増加が予測されている造血幹細胞移植については、そのあっせん機関である骨髄バンク、さい帯血バンクの運営費は、基本的に医療保険適用対象とするよう委員会として合意。当面は、事業支援のために国庫補助金の大幅増額が必要。地方自治体等の関係者間の役割分担、国庫補助のあり方については今後の論議に。患者負担金は医療費控除対象とするよう財務省に申し入れるとされた。

日本骨髄バンク骨髄提供登録者(ドナー)・骨髄移植希望者登録状況 (2002 年 7 月末)

	全国	関西	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山
ドナー登録者数(7月末)	156,211	23,308	1,585	4,088	9,379	5,766	1,507	983
移植希望者登録数(6月末)	1,796	213	14	35	89	44	14	17

移植希望者現在数についてはデータ抽出方法の見直しのため 7 月末のデータは現在出ておりません。

ドナー登録会の報告と予定

3 月 24 日～8 月 当協会・加盟団体関係分

年	月	日	曜	実施形態	県	市	場所	登録数
2002	3	24	日	集団登録	和歌山県	美里町	美里町文化センター	7
2002	3	24	日	集団登録	大阪府	豊中市	豊中すてっぷ	78
2002	4	30	火	献血併行型	京都府	福知山市	福知山市武道館	4
2002	6	1	土	集団登録(献血同時)	大阪府	堺市	大阪府立大学	9
2002	6	30	日	集団登録(献血同時)	大阪府	大阪市	大阪府立体育会館	8
2002	7	7	日	集団登録	大阪府	大阪市	阪急グランドビル 26 階	29
2002	7	21	日	献血併行型	奈良県	宇陀郡	山添村ふるさとセンター	5
2002	7	26	金	献血併行型	京都府	舞鶴市	舞鶴総合庁舎	3
2002	8	13	火	献血併行型	京都府	福知山市	福知山市武道館	11
2002	8	27	火	集団登録(献血同時)	大阪府	堺市	堺市役所南支所	6

各地の活動報告と今後の予定

3月

- 3/23 運営委員会・封入作業・フリーマーケット(関西)
- 3/24 海南保健所にて「休日ドナー登録会」(和歌山)
- 3/24 豊中「すてっぷ」にて登録会(大阪・関西)
- 3/30 セレッソ vs トリニータにて啓発(関西)

4月

- 4/5-7 DIY ショウにて啓発(大阪・関西)
- 4/6 セレッソ vs 横浜 FC にて啓発(関西)
- 4/13 セレッソ vs アビスパにて啓発(関西)
- 4/14 極真会「2002 年春期交流試合」に出席(和歌山)
- 4/14 「多田そうべいふれ愛コンサート」(関西)
- 4/16 「よみうり甲賀 7」に記事掲載(滋賀)
- 4/28 「槻貴子ふれあいコンサート」(関西)
- 4/30 福知山市武道館にて献血併行型登録会(和の会)
- 4/27-5/6 信楽町観光客に登録よびかけ(滋賀)

5月

- 5/4.5 「堺ハートフルランド」にてチラシ配布(さかい)
- 5/6 「法泉寺寄席」にて啓発(滋賀)
- 5/11 運営委員会(関西)
- 5/12 「耳原まつり」にてチラシ配布(さかい)
- 5/19 「福祉まつり」にてチラシ配布(さかい)
- 5/19 「キリンビールフェスティバル」にて啓発(滋賀)
- 5/20 関電労組奈良地区・県・DC と打合せ(奈良・関西)
- 5/26 「大風まつり」にて啓発(滋賀)
- 5/31 大阪府立大学にて勉強会(関西)
- 5/31 兵庫県にて骨髄バンク事業推進に関する会議(関西)

6月

- 6/1 大阪府立大学にて登録会(関西)
- 6/8 「ボランティアのバザール」にて講演(さかい)
- 6/8 街頭啓発(ティッシュ、リーフレット配布)(和歌山)
- 6/12 県に「要望書(集団登録会実施のお願い)」提出(滋賀)
- 6/22 運営委員会・フリーマーケット(関西)
- 6/30 極真会大会にて登録会(関西)

7月

- 7/6 草津市・なごみの里での茶会にて啓発(滋賀)
- 7/7 総会・阪急グランドビルにて登録会(大阪・関西)
- 7/8-11 ライオンズクラブ国際大会にて出展(関西)
- 7/11 「和の会通信第 8 号」発行(滋賀)
- 7/13 セレッソ vs アルビレックスにて啓発(関西)
- 7/21 山添村ふるさとセンターにて献血併行登録会(奈良)
- 7/22 大阪パリ祭「深緑夏代チャリティコンサート」(関西)
- 7/26 草津図書館に「チャンス」設置(滋賀)
- 7/26-28 「信楽陶器まつり」にて啓発(滋賀)
- 7/28 ふる里門真まつりにて啓発(大阪・関西)
- 7/27 運営委員会・フリーマーケット(関西)
- 7/27 セレッソ vs アルティージャ(関西)
- 7/31 「堺大魚夜市」市民活動発表会にて PR(さかい)
- 7/31 「堺大魚夜市」にてチラシ配布(さかい)
- 7/31 心臓病男児・海外移植のための街頭募金(滋賀)

8月

- 8/1 「堺市広報 8 月号ボランティアコーナー」にて PR(さかい)
- 8/10-11 心臓病男児・海外移植のための街頭募金(滋賀)
- 8/11 「人形劇フェスティバル in なら」にてチラシ配布(奈良)
- 8/13 福知山市武道館にて献血併行型登録会(和の会)
- 8/18 心臓病男児・海外移植のための街頭募金(滋賀)
- 8/18 ミュージカルグループ「トビ」公演にてリーフレット、パンフレット配布(和歌山)
- 8/25 チャリティボーリング大会(大阪)
- 8/27 堺市役所南支所にて登録会(さかい・関西)
- 8 下旬 『母さん子守歌うたって』出版(滋賀)
- 8/31 セレッソ vs モンテディオにて啓発(関西)

9月

- 9/7 セレッソ大阪 vs 横浜 FC にて啓発(関西)
- 9/8 茨木市保健センターでの健康展にて啓発(大阪)
- 9/14 セレッソ大阪 vs フロンターレにて啓発(関西)
- 9/21 街頭啓発(ティッシュ、リーフレット配布)(和歌山)
- 9/22 三通商店街 NPO フェアにてチラシ配布(さかい)

イベントのお知らせ ~多数のご参加をお待ちしております・お問い合わせは関西協会事務局まで~

<p>日韓交流記念事業 『命のボランティアでつなぐ 日韓交流』 日時：2002 年 10 月 25 日(金) 17:15~19:30 場所：大阪国際会議場「グランキューブ大阪」 内容：エキシビション サムリノリ(韓国民族楽器演奏)・和太鼓演奏 シンポジウム 「命のボランティアでつなぐ日韓交流(アジアのバザール)」</p>	<p>チャリティーイベント 『第 2 回 関西骨髄バンクチャリティーゴルフ大会』 日時：2002 年 12 月 23 日(月・祝) 7:30 スタート 場所：ヤマトカントリークラブ(奈良県天理市) 会費：30,000 円(プレイヤー・パーティ代・チャリティー等含む) 郵便振替 00980-6-47299 骨髄バンクチャリティー実行委員会 定員：200 名 申込期日：定員になり次第締め切り</p>
--	--

『第 2 回 チャリティー囲碁大会』も現在計画中!

2003 年 1 月 19 日(日)大阪府立成人病センター・大阪府立健康科学センターにて開催予定です

<骨髄移植推進ミュージカル「明日への扉」公演情報>

大阪：9 月 25 日(水)、26 日(木) NHK ホール(大阪・大手前)

お問い合わせ先：大阪スクールオブミュージック専門学校 フリーダイヤル 0120-121-806

<新事務局員の紹介>

2002 年 4 月からと 6 月から、お二人のニューフェイスに関西協会の事務を担当して頂いております。縁あって関西協会にお力をいただく事になりました。皆様どうぞよろしくお願い致します。

「不慣れで力不足な上、気弱(?)な事務局員ですが、皆さま、よろしくお願ひいたします!」 西村善美・加納恵美子

心よりのご寄付に感謝申し上げます。

2002年3月11日～8月20日(敬称略・順不同)

個人

山下節子	8,000 円	兼田利治	1,000 円	とんぼ玉グループ	32,700 円
星圭子	5,000 円	坂田泰男	3,000 円	匿名	2,000 円
岩切礼子	3,000 円	三宅修一	1,000 円	匿名	100,000 円
寺田満	3,000 円	塚原久子	18,000 円	匿名	5,638 円
南川智美	3,000 円	掛水信久	7,000 円	二宮英喜	書籍
北之坊皓司	3,000 円	山田久夫	10,000 円	有志多数	手作り品
田代貴久	760 円	西井亀三郎	10,000 円	有志多数	バザー用物品
5 月度運営委員有志	736 円	山下一馬	5,000 円		
福田とみえ	1,980 円	藤岡八重子	32,000 円		

団体寄付

国際ソロプチミスト西宮	20,000 円	守口ライオンズクラブ	110,000 円
茨木ローズライオンズクラブ	50,000 円	大阪府高等学校青少年赤十字メンバー	
ライオンズ日本財団(グレイ協賛金)	50,000 円	連絡協議会	30,012 円
大阪骨髓献血の和を広げる会	68,000 円	(有)喜南鈴硝子	とんぼ玉作品
骨髓献血の和を広げる会		深緑音楽事務所	パリ祭大阪チケット
(ライオンズクラブ 335-C 地区 5 リジョン)	200,000 円		

団体賛助会費

国際ソロプチミスト京都	10,000 円	兵庫医科大学輸血部	10,000 円
大和郡山ロータリークラブ	20,000 円	国際ソロプチミスト大阪 りんくう	10,000 円
SDC トップダイバー	10,000 円	姫路ライオンズクラブ	10,000 円
大阪ちゃやまちロータリークラブ	30,000 円	真愛ホーム	10,000 円
大阪本町ロータリークラブ	20,000 円	国際ソロプチミスト福知山	20,000 円
奈良セントラルライオンズクラブ	10,000 円	豊中央ライオンズクラブ	10,000 円

助成寄付金

(有)ダイワ通販 1 月	9,535 円	(有)ダイワ通販 4 月	28,934 円
(有)ダイワ通販 2 月	41,748 円	(有)ダイワ通販 5 月	35,079 円
(有)ダイワ通販 3 月	36,641 円		

皆様の心よりのご寄付をお待ちしております。

お振込先 大和銀行 本店公務部 普通 3652502 関西骨髓バンク推進協会 事務局
郵便口座 00970-3-64270 関西骨髓バンク推進協会

書籍の紹介

『母さん 子守歌うたって ずんろくがま 寸越薫・いのちの記録』 (株)ひくまの出版

那須田稔 岸川悦子 共著 四六版 定価 1,470 円

- これは、滋賀県信楽に生き、ひたすら陶芸の道を歩みつづける神山清子と、31歳の若さで白血病に倒れ同じ陶芸の道をこころざした息子賢一の、母と子のいのちの記録である - ~書店にて好評発売中!~

各会ではボランティアを募集しております

- * 骨髓バンクを応援するさかい TEL&FAX:072-273-0992
- * 骨髓献血の和を広げる会 TEL&FAX:0773-27-7693
- * 大阪骨髓献血の和を広げる会 TEL&FAX:06-6349-2002
- * 和歌山骨髓献血の和を広げる会 TEL&FAX:073-451-9528
- * 滋賀骨髓献血の和を広げる会 TEL&FAX:0748-83-0259
- * 奈良造血幹細胞移植を支援する会 TEL&FAX:0743-57-8050

関西骨髓バンク推進協会

〒537-8511 大阪市東成区中道 1-3-3 大阪府立成人病センター第三部長室内

TEL&FAX 06-6977-2123 E-mail:kankyo@mtc.biglobe.ne.jp